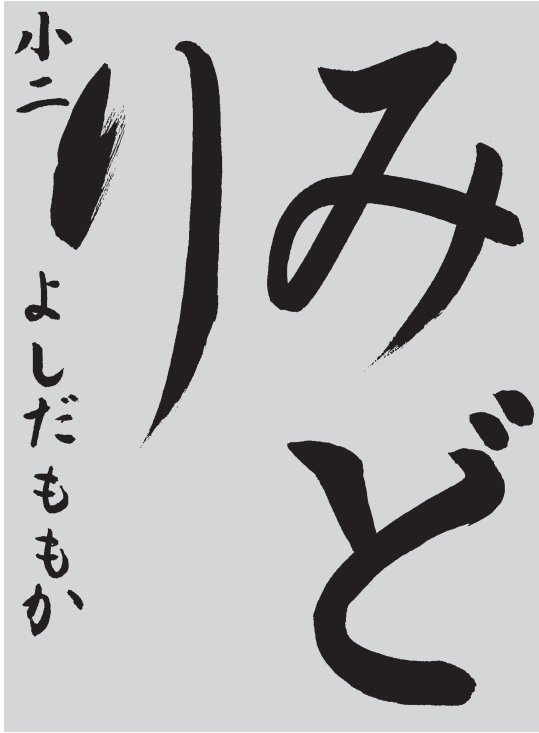


〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

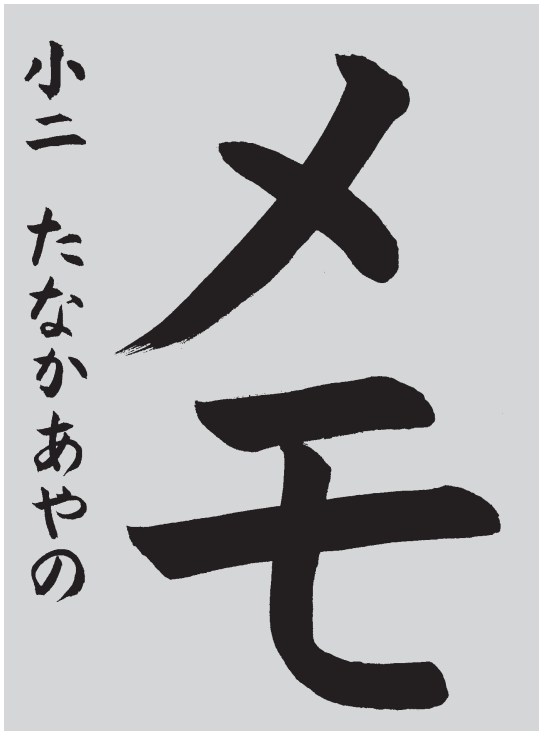


島田白露先生

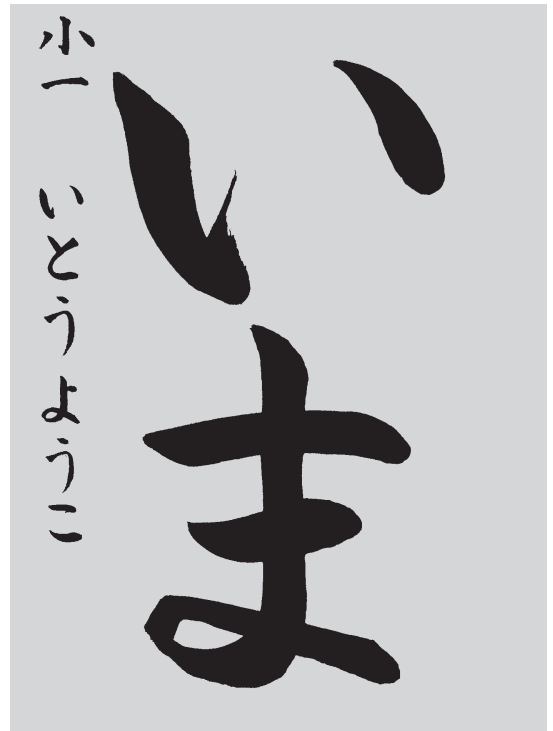
幼・小学1年参考手本



川島舟錦先生



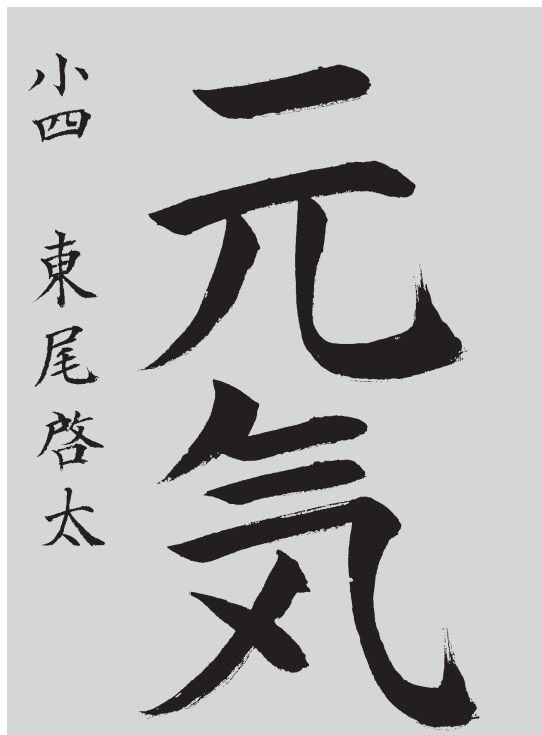
田中扇溪先生



小竹石雲先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小 伏 小 扇 先生

小学3年参考手本



小 池 蹊 舟 先生



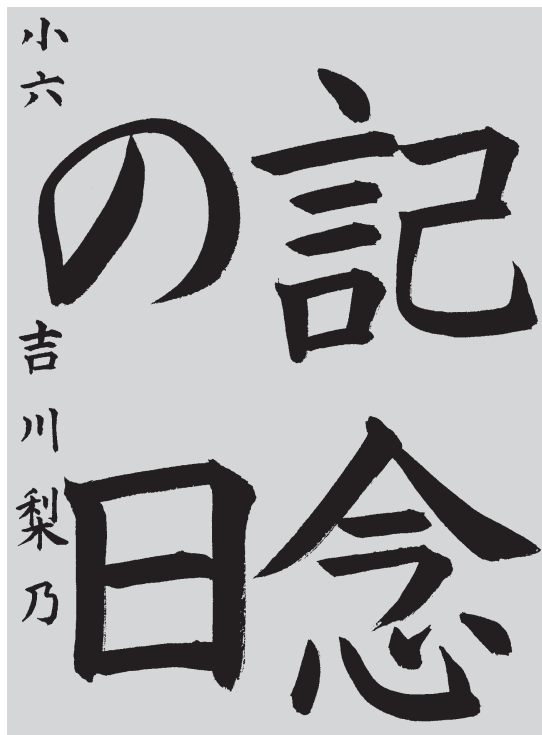
小 浜 大 明 先生



種 谷 萬 城 先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



稲垣小燕先生

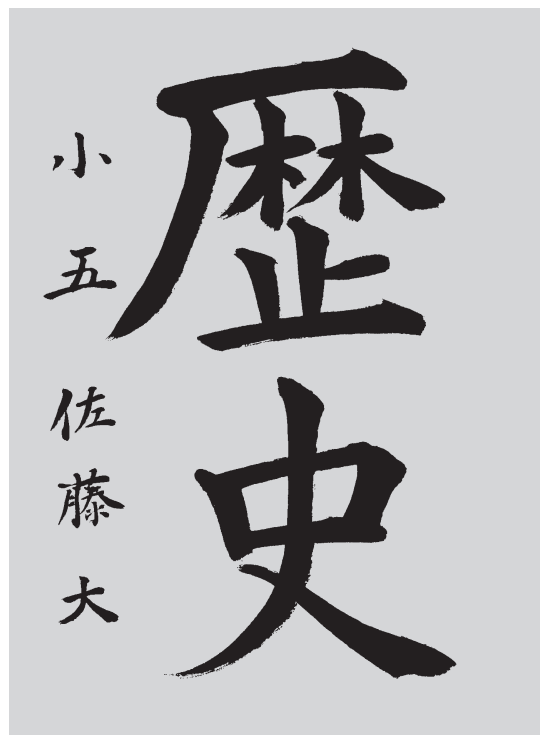
小学5年参考手本



名越蒼竹先生



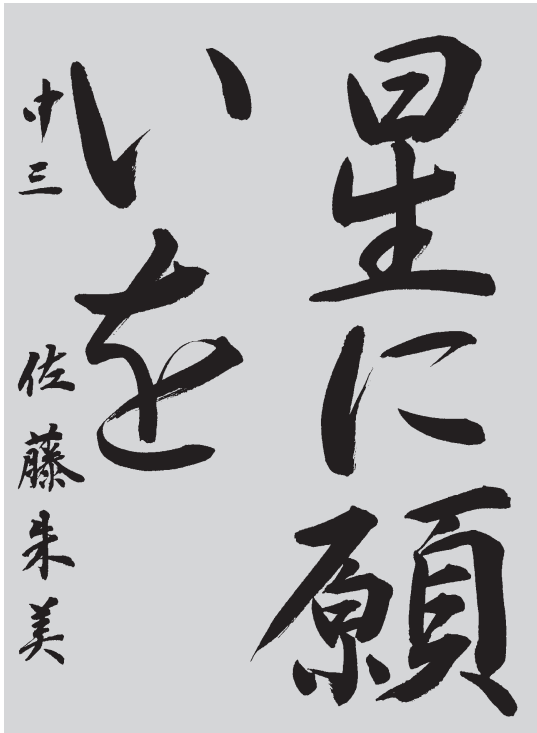
半田藤扇先生



大野祥雲先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

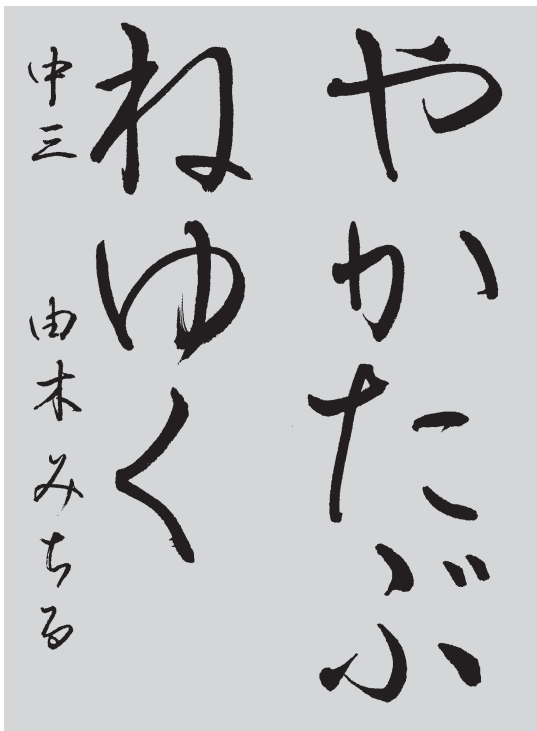
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



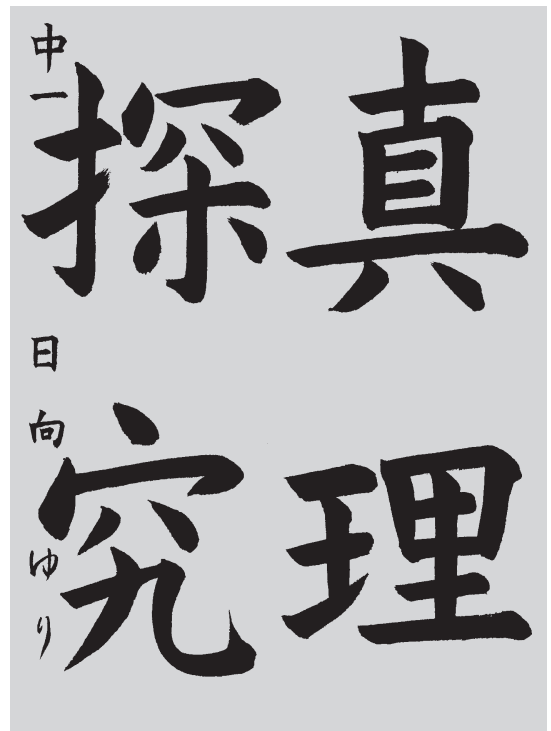
辻元大雲先生



加瀬澄春先生



石井明子先生



広瀬舟雲先生

〔7月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔7月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(毛筆も同じ)

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

支 部 名			
	に	た	
だん・きゅう	い	い	
	き	い	
がくねん	ま	い	
一	ま	い	
なまえ	し	く	
	た	か	
	。	ん	
			い
			い
			き
			れ
			お

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

『たいいくかん』
かたちをよくみて、ていねいにかきましょう。

つじけるまもぢでかく

つじけるまもぢでかく
ちいさくはねる

つじけるまもぢでかく

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
		に		
		入		
段・級		り		
		ま		
学 年		し		
	三	た		
名 前		。		
	大			
	田			
	有			
	美			

支 部 名				
		小		
		さ		
段・級		な		
		魚		
学 年		た		
	二	ち		
名 前		。		
	手			
	島			
	数			
	生			

「カ」をさげて書く。

「一」をさげて書く

「丁」をさげて書く

『運動クラブ』
「へん」と「つくり」の組み立てに気をつけて書きましょう。

四つてんのほうこう

はねる
へつじゅん

「海」の字形を正しくかきましよう。

ク+田+ハ(れっか)
四つてんのほうこう

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支 部 名			
段・級			
学 年	五		
名 前	谷元美月		
	文章	内容	「私
	に	で	と
	書	、	友
	い	自	達
	て	分	し
	み	の	と
	よ	体	い
	う	験	う
	。	を	

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	平野大河		
	元	ん	夏
	気	な	休
	で	で	み
	い	遊	に
	て	び	は
	く	に	。
	だ	行	家
	さ	き	族
	い	ま	み
	。	す	

中心



よこ分間を広げすぎない
五画目を長く（ひしがた）



この字のつりあいをとる線
・「馬」の筆順
「一」 「冂」 馬 馬



『自分の体験』
左右のつりあいをよく、字形をととのえま
しょう。
「一」 いたん止めて、右へはらう
幸と之（しんにょう）の組み合わせ

中心



「はらい」の方向と長さが大切
・「方」の筆順
「一」 「冂」 方



そる
〈筆順〉
気 気 気
方向と長さ



※はらいの方向に注意して左右の
つりあいをとる。
中心から書いて、中心にもとる

『夏休み』
筆順に気をつけて、ていねいに書きましょう。

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名				
段・級				
学 年	中三			
名 前	加藤 莉子			

ことができる時代となった。

作成し、世界中に情報を発信する

現代は、誰でもがホームページを

支 部 名				
段・級				
学 年	六			
名 前	神戸 敬			

てまとめることが大切。

は、筆者の意図に沿って

文章を要約する場合

現代作成

〈簡単な行書〉

中心
情報を発信する

『ホームページ』
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく
書きましょう。

切

七、おれ
七 (許容字体)

約

点の位置と方向に注意

中心
要

九画目を長く
筆順
一、二、西、更、要、要

『要約』
漢字の外形を見て、字形を整えましょう。

3年	友	ユウ とも	一 ナ 方 友
4年	気	キケ	ノ 一 二 气 气 气
	夏	カゲ なつ	一 一 百 百 頁 夏 夏
5年	休	キユウ やす・む やす・まる やす・める	ノ イ 仁 休 休
	浴	ヨク あ・びる あ・びせる	シ 汙 汙 浴
6年	歴	レキ	厂 厩 厩 厩 厩 厩 厩
	念	ネン	人 今 今 念 念
中学	対	タイ ツイ	一 一 一 文 对
	策	サク	々 竹 筍 筍 策
中学	探	タン さが・る さが・す	扌 扌 扌 扌 扌 探
	究	キユウ きわ・める	宀 宀 宀 宀 究
	願	ガン ねが・う	一 厂 厩 原 原 願 願

行書を学ぼう (203)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

<p>屋</p> <p>屋</p>	<p>探</p> <p>探</p>	<p>真</p> <p>真</p>
<p>形</p> <p>形</p>	<p>求</p> <p>求</p>	<p>理</p> <p>理</p>
<p>船</p> <p>船</p>		

ひらがなの字源 (203)

	く	ゆ	ね	ぶ	た	か	や	
	久 久 く	由 由 ゆ	衤 衤 ね	不 ふ ふ	太 太 た	加 か か	也 や や	源字 字形

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

漢字に親しもう

52

7月号中学生の毛筆課題から「真理探究」の「探」にスポットを当てて成り立ちから使い方、「探求」と「探究」の使い分けまで深く学んでみよう。

探

おん タン
くん さぐる・さがす

擦 探

内(㇀あな)と又(㇀手)と、火(㇀火)でできた内(㇀)に、㇀(㇀手)を組み合わせた字。

あなのおくふかくに手を入れてさぐることを表す。「さぐる」「さがす」「たずねる」の意味がある。

いみ・じゆく)

①さがす。さぐる。深く考える。|探求・探検・探訪・探検・探求・探偵

つかいかた

- 事件の真相を探求する。
- アフリカの未開地を探検する。
- 友人の本当の気持ちを探る。
- 落としたコンタクトレンズを探す。
- 敵チームに探りを入れる。
- 手探りで進む。○人探しのポスター。



【使い分け】「探求・探検」のちがいは、探求↓ものごととのほんとうのすがたを明らかにするために、さぐって見きわめること。●探求↓自分のほしい目的のものをさがしとめること。

【探求】タンキユウ ものごとをさぐりもとめること。例 幸せの探求。

【探究】タンキユウ 学問や研究などで、どこまでも深く調べること。例 真理の探究。

編集余録

○入学式から2ヶ月が経過しました。小学1年生の皆さんは新しい環境に慣れてきましたか？4月、5月は先生が引率して1年生だけ近所の駐車場まで集団下校していました。お家の方がそこまで迎えに来ていて子供達がお母さんを見つけると急にニコニコ笑顔になる様子を微笑ましく見ていました。きっと学校ではまだまだ緊張していたのでしょうか。

○夏休みには自宅の隣の公園で『三世代の新しい交流を』と呼びかけ、16年目のラジオ体操を行います。地域をみんな盛り上げていこうという連帯感がとても嬉しく思います。

『子供は国の宝』高齢化社会、少子化時代と言われていますが、地域全体で子供達を見守る意識がとても大切です。子供が悪い事をしたら大人が叱ってあげられる環境作りが必要であると思います。

○編集部では、より便利で為になる「書道芸術学生版」の発行と心がけています。今月号から新規登録の様式を変更しました。先月号から指導者の先生方への誌代の送付文書もわかりやすく改善しました。少しずつの前進ではあります。その積み重ねは大きな成果に繋がってほしいです。今後とも協力を宜しくお願いいたします。

(鄭街)